

令和5年11月22日

令和5年度 北陸の海と港の技術情報交流会を開催します ～新技術の更なる活用に向けて～

本交流会は、昨年度まで「企業技術説明会」として、民間企業で開発した新技術を管内の港湾、空港等のインフラ整備に有効活用するための情報収集並びに、技術開発の現状と動向の把握等のため毎年開催して参りましたが、今年度より、管内の大学における研究発表および当事務所における技術開発動向の説明も加え「北陸の海と港の技術情報交流会」へと名称変更し開催いたします。

記

1. 日 時：令和5年11月30日（木）13:15～17:00
2. 会 場：新潟市中央区花園1丁目2番2号 コープシティ花園ガレソ4階
GARESSO HOLL「ホール a」
3. プログラム
受 付 12:45～13:15
開催時刻 13:15～17:00

【発表研究・技術】

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 敦賀港における自動係留装置の導入について | 新潟港湾空港技術調査事務所 |
| 2. 新潟大学海岸工学研究室における研究動向 | 新潟大学工学部 |
| 3. 異なる避難開始時間を考慮した Artisoc による津波避難シミュレーション | 新潟大学大学院 |
| 4. 日本および他国事業海域における洋上風力発電のための海上風特性の比較 | 長岡技術科学大学大学院 |
| 5. AIを用いた低波高時における離岸流発生場所把握のための研究 | 長岡技術科学大学大学院 |
| 6. 港内被災低減を目的とした新潟東港内へ入射する波浪条件の検討 | 長岡技術科学大学大学院 |
| 7. グリーンレーザ測量を用いた海岸管理技術及び藻場判読の試行 | 国際航業株式会社 |
| 8. 面的 LiDAR を用いた現地波浪観測手法 | 五洋建設株式会社 |
| 9. サーマルカメラによる沿岸部の遠隔監視 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 10. AI(人工知能)による港内堆積土砂量予測 | いであ株式会社 |
| 11. 気候変動を考慮した波浪等の解析技術 | 株式会社エコー |
| 12. 老朽化した岸壁の部分撤去・改良工法 | 株式会社日本港湾コンサルタント |
| 13. 流起式可動防波堤 | みらい建設工業株式会社 |
| 14. ジャイロプレス工法® | 株式会社技研製作所 |
| 15. 超硬質地盤に適応した深層混合処理工法(CI-CMC-HG 工法) | 株式会社不動テトラ |
| 16. 3D 函体据付システム、函体自動注排水システム | 株式会社本間組 |
| 17. 防波護岸「フレア護岸」 | ケイコン株式会社 |

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所

TEL : 025-222-6115 副所長 ^{ばん} 伴、 技術開発課長 ^{かわい} 河合